

京都丹波の教育推進プラン ～京都府教育振興プランの実現に向けて～

豊かな学びの創造と確かな学力の育成

論理的思考力や判断力、表現力の育成など、多様で豊かな学びを通じ、確かな学力をはぐくみます。



◆なんたん学びモデル推進校 充実

「質の高い授業づくり～5つの提言～」に基づいた授業改善を推進し、自校・園の課題解決のための研究に取り組みます。

◆学校訪問と授業実践講座 充実

管内の教育課題に応じ、課題解決に向けた方策を優れた実践から学ぶことを通して、児童生徒の学力向上をめざします。

◆子どもの育ちをつなぐ研修会

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続について理解を深め、保幼小連携を推進します。

★子どもの教育のための総合交付金

府と市町が一体となって「教育環境日本一」に向けた取組を進めるため、地域の実情に応じた特色ある取組を支援します。

★きょうと明日へのチャレンジコンテスト

「課題」について探究的に学ぶことにより、認知能力と非認知能力を一体的にはぐくみます。

★京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～

「認知能力の伸び」と「非認知能力の変容」を継続的に把握し、指導上の課題を明らかにして、授業改善を推進し、確かな学力をはぐくみます。

★京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート活用推進事業～

結果データと教員の観察の両輪を基にした分析により、RV-PDCAサイクルを確立し、学ぶ楽しさと意義が実感できる授業モデル及び学校モデルを創出します。

★外国語の学びを深める「ICT×探究的な学び」実証研究事業

英会話アプリ及びWeb会議システム等を効果的に活用し、英語によるコミュニケーションの必然性を生み出し、英語に関する知識及び技能だけでなく、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力をより効果的・効率的に育成する授業モデルの創出・普及を図ります。

★教科担任制を見据えた系統的な学びの推進事業

授業の質の向上、小中の円滑な接続、多面的な児童理解、業務改善等につなげる教科担任制の在り方を構築します。

幼小中高大 連携の充実

学校種間の連携を通して子どもたちの学びの連続性を充実させるとともに、各校の教育活動を活性化させます。

学校・家庭・地域の 連携・協働と 社会教育の推進

子どもをともにはぐくみ、ともに育ちあう地域社会の構築をめざします。

豊かな人間性の育成と多様性の尊重

道徳性の育成や規範意識、人を思いやり、尊重する心、自他を大切にし多様性を尊重する心など、豊かな人間性をはぐくみます。



◆管内人権教育担当者会議 充実

小・中学校、府立学校等の人権教育の担当者が緊密に連携し、人権教育をさらに推進するための研修の充実を図ります。

◆南丹地区生徒指導連絡協議会

小・中学校、府立学校等の担当者が課題の共有と取組の交流を行い、生徒指導の充実を図ります。

◆管内特別支援教育充実研修会

一人一人の教育的ニーズに応じた効果的な支援について学び、特別支援教育の充実と推進を図ります。

◆道徳教育の充実に向けた支援

「特別の教科 道徳」における多様で効果的な指導方法への改善と評価の充実を支援します。

◆読書活動の充実

読書を通じて言語力、表現力や創造力を社会総がかりで育成するため、学校図書館と公立図書館が連携した取組を進めます。

★不登校児童生徒支援システム構築事業

不登校傾向のある児童生徒へのアセスメントを丁寧に行い、小・中学校が連携した切れ目のない支援につなげていくシステムの構築をめざします。

★スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーの全校派遣

全小・中学校にスクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーを派遣し、児童生徒の基本的な生活習慣の確立や教育・福祉が連携した支援体制づくりの取組を推進します。

★キャリア・パスポートの有効活用 拡充

従来から行っていた目標の設定、実行、振り返り、改善を系統的に実施し、自己肯定感を高め、自らの進路を切り拓く力の育成に活用していきます。

★市町村の架け橋期コーディネーター設置促進研究事業

市町の状況に応じた架け橋期コーディネーターの在り方を研究し、市町での架け橋期コーディネーターの設置を支援します。

●南丹地区幼稚園・小学校・中学校・高等学校等連絡協議会

幼稚園、小・中学校、高校及び特別支援学校が、幼児・児童・生徒の発達と学びの連続性を図り、自らの進路を主体的に切り拓く資質・能力の育成や、運動競技力の充実などに向けた連携を推進します。

・専門部会【中高連絡、競技力、特別支援教育、人権教育、芸術文化、幼小連絡】

学校種間の連携・交流による指導力向上と円滑な接続をめざします。

・ブロック会議【亀岡、北桑田、園部、須知】

各ブロックの課題に応じて、「育てたい子どもの姿」を共有し、学校間の連携を図ります。

子育て支援ネットワークの拡充

◆南丹地区子育て支援協議会 (学校・地域・福祉・子育て支援団体等)

子育て家庭の抱える課題解決に向けて講演会や実践交流等を行い、子育て家庭を見守るためのネットワークの拡充をめざします。

◆なんたん子育てフォーラム

(京都府PTA指導者研修会南丹大会)

社会の変化に対応したPTAの役割や活動の在り方について研修を深めるとともに、各関係者が連携・協働し、社会総がかりで子どもを守り育てる機運の醸成とネットワークの拡充を図ります。

令和7年6月22日(日) 京都医療科学大学(予定)

健やかな身体の育成

子どもたちの安心・安全や健康的な生活習慣の確立とともに、いきいきとたくましく健やかな身体をはぐくみます。



★薬物乱用根絶に向けた取組

「薬物乱用防止教室」の全小・中学校での早期実施を進めるなど、薬物乱用の根絶に向けた一層の取組を進めます。

★食に関する指導充実事業

「食に関する指導計画」に基づき、教科横断的な指導や家庭・地域社会との連携などの研究を行い、食育を推進します。

★体育指導力向上指定校

ICTを活用した児童生徒への効果的な指導方法の開発に向けた実践研究を推進します。

★京都式「部活動サポート」事業(部活動指導員)

中学校において、教員に代わり部活動の指導・引率・運営管理等を行うことにより、指導体制の充実を図ります。

★中学校等運動部支援事業

中学校運動部等を重点的に強化する一貫した指導を進め、国民スポーツ大会や高校総体で活躍する選手を発掘・育成します。



◆京都丹波キッズふれあい駅伝

小学校が参加し、駅伝を通して小学生の体力・運動能力の向上や交流機会の充実をめざします。

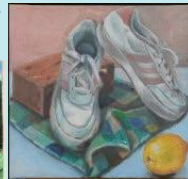
令和7年11月15日(土) 京都府立丹波自然運動公園(予定)

◆京都丹波美術工芸教育展

幼稚園、小・中学校、高校、特別支援学校、京都伝統工芸大学校等の作品を展示し、美術工芸の推進と次世代の文化の担い手の育成をめざします。

令和7年10月25日(土)・26日(日)
京都伝統工芸大学校(予定)

令和8年1月
南丹教育局ホームページに
デジタル展示(予定)



◆子育てサポーターズフォーラム

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について理解を深め、地域サポーターの育成や指導力の向上をめざします。

★人権教育行政担当者等研究協議会

人権教育行政担当者の研修や情報交換等の取組を通して、学校や市町と連携を図りながら人権教育・人権啓発の取組の充実をめざします。



人材育成

子どもたちの豊かな成長を支える教職員の資質・能力や指導力の向上などを図ります。



◆京都丹波の人材育成プログラム

各コースにおいて、職種や資質・能力向上に応じたセミナー等を実施し、知識や技能の習得と高い専門性を備えた人材の育成を図ります。

I ミドルリーダー育成コース

教職経験7～15年(指標ステージ2)の教員を対象としたセミナー等を開催し、若手教員の模範となるリーダーを育成します。

II キャリア活用コース 充実

豊富な知識と多様な経験を活かして、教職員の資質・能力の向上及び運営に寄与できる人材の育成を図ります。

III 特別支援教育スキルアップコース

若手の通常学級担任を対象として、特別支援教育に必要な知識と技能を習得し、特別支援教育を推進する教員を育成します。

IV 講師対象教師力向上コース

講師を対象に、コンプライアンス意識や授業力等の教職員として必要な知識・技能の習得及び資質・能力の向上を図ります。

◆京都丹波の教育推進表彰

優れた教育実践を行っている教員や、子どもの育ちと学びを支え続ける学校づくりに向けて優れた実践を行っているチームを表彰します。

◆京都丹波人材育成アドバイザー派遣事業

メンターシップ等により、若手教員の資質・能力の向上を図り、教師力継承の取組を行います。

◆なんたんオンラインコミュニティ

学校間、教職員間の自発的な情報共有・発信を目指し、既存の局事業でも積極的にオンラインを活用していきます。

★ICT利活用 新しい授業づくりリーダー育成研修

ICTを活用した協働型の新しい授業が実践できる人材及びICTの利活用を先導的に進めるリーダーを育成します。

★南丹まなびサポート事業(学習支援ボランティア)

教職をめざしている学生を管内の小・中学校へ派遣し、児童生徒の学習支援等を行います。

◆南丹パートナーズクール事業

・美術工芸

小学校と高校が連携し、伝統工芸や美術を児童に教えることを通して美術工芸教育の推進を図ります。



・外国語

小学校と高校が連携し、児童の外国語によるコミュニケーション能力の素地を養います。



・環境・食育

中学校と高校が連携し、地域の教育資源を生かした取組を通して明日の京都丹波を担う人づくりを推進します。

★南丹地区社会教育委員連絡協議会

社会教育委員の研修や情報交換等の取組を通して、管内における生涯学習の一層の促進を図ります。

※幼稚園には幼保連携型認定こども園を、小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程を含む。

◆…京都府南丹教育局事業

★…京都府教育委員会等連携事業

●…南丹地区幼稚園・小学校・中学校・高等学校等 連絡協議会事業